

保証 規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、 下記の保証規定により保証いたします。

- 1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じ ました場合は無償で修理いたします。
- 2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除 外いたします。
- a 不適当な取扱い、使用による故障
- b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による お暗
- c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または 修理に起因する故障
- d その他当社の責任とみなされない故障

番 TX-120) 3	/リアルNo.		
期間	年	月	日より	1ヵ年
お名前				様
ご住所				
電話番号				
住所·店名				
	期間 お名前 ご住所 電話番号	期間 年 お名前 ご住所 電話番号	期間 年 月 お名前 ご住所 電話番号	期間 年 月 日より お名前 ご住所 電話番号

株式会社 カスタム

 λ_0

〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12 TEL (03) 3255-1117 FAX (03) 3255-1137 http://www.kk-custom.co.jp/

センサについて -

⚠ 危険

センサのステンレス部先端は、固形物に差し込んで測定するために

また、冷凍した食肉など、堅い固形物の測定の時、無理にセンサを

差し込んだり、余分な力をかけないでください。センサが曲がったり、

⚠ 警告

したとき、センサ先端の感温部の周囲が熱くなることがありますので、

センサを測定対象物に刺した状態で高温を長時間にわたって測定

防水について -

/ 警告

センサのステンレス部分は、液体測定時に水に浸すことができますが、

ステンレス部以外は水に浸さないでください。また、水がかからないよう

メンテナンス

⚠ 警告

ください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証

不具合が生じたときは、弊社・または弊社代理店に修理を依頼して

電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付 着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした洗剤液に

浸して固く絞った布で拭いてください。絞り方が不完全な布は使わな

アルコールやシンナ、ベンジンなどの揮発性溶液は、絶対に使用し

尖っています。取扱いには十分注意して下さい

折れて怪我をしないように注意してください。

注意してください。

に注意してください。

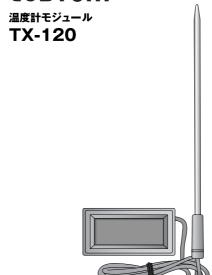
ができなくなります。

いでください。

ないでください。

120602

CUSTOM



取扱説明書

この度は弊社の温度計モジュールをお求めいただきまして誠に有り 難うございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用く ださい。

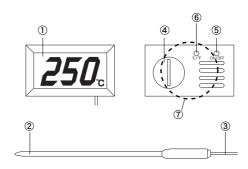
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存される ことをおすすめします。

1.仕様

φ3.4×約120mm、SUS304、コード長90cm
-50°C~+250°C
0.1℃(-19.9℃~+199.9℃)、1℃(左記以外)
±1°C (-10°C~+100°C)
±2°C (-30°C~-10°C、+100°C~+200°C)
±3°C (+200°C~+250°C)
1回/秒
-5℃~+50℃、80%RH以下(但し結露のないこと)
-20℃~+60℃、70%RH以下(但し結露のないこと)
LR-44 (1.5V) ボタン電池 1個
約3000時間
W53×W28×D14mm、約30g

※本器に内蔵の電池は出荷時動作確認用です。初めてご使用 いただく際には必ず新しい雷池と交換してください。

2.各部の名称と機能



①表示部

センサが計測した温度の測定値を表示します。

表示部には、温度の値を0.1℃単位(-19.9℃~+199.9℃の範囲にて) の読み取りで、デジタル表示されます。

また、表示する温度の単位が同時に表示されます。

安全にご使用いただくために

本温度計を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守り ください

本文内の介危険は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるた めの記号です。また、介警告は、本器を長期間にわたって損傷を 防ぎ良好な状態でご使用頂くための記号です。

企危険

感電事故防止のため、電圧が印加されている裸線または回路上の 部品等の温度測定には本器を使用しないでください。

⚠ 危険

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなど、マイクロ波過熱炉での 温度測定は絶対に行わないでください。

1. 危険

電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み 込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

また、使用済の電池は直ちに破棄してください。電池を過熱すると破裂する 恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

一備考

冬季間の屋外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅く なることがあります。暖房機具などの周辺での使用は本体のプラスチック 部の変型・故障の原因になったり、電池の消耗が常温での使用に比べて 早くなります。

小警告

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。 極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、 注意してください。

センサコードの使用について -

⚠ 警告

センサの故障(断線)の原因になりますので、コードを強く引っ張ったり、 コードの上に重い物を置かないでください。

②センサ

測定する対象の温度を検知するセンサです。 ステンレスで棒状のため、液体の測定や、固体の内部の温度測定、 気体の温度測定に使用できます。

- ③センサコード
- ④電池収納部

電池を装填するための収納部です。

⑤雷源ボタン

ON/OFFスイッチを押し、電源をONします。

⑥温度表示単位切替ボタン

ボタンを押す度に温度表示単位が℃と℃に切り替わります。

(7) 吸盤

棚やガラス面等に本器を固定できます。

3.測定方法

- (1)本体裏面の電池蓋をOPENの方向に回して外します。出荷時は、 電池の消耗を防ぐために絶縁用のテープが入っていますので、こ のテープを外します。
- (2) センサプローブを測定する対象に近づけて、表示が安定したら表示 部の表示を読み取ります。

参考

バーンアウト"----℃"の表示が出たときは、

- (1) 電池が消耗しているとき
- (2)表示可能範囲を超えているとき
- (3) センサが断線しているとき

が原因です。(3)が原因と判明したときは、症状をご記入の上修理 を依頼してください。

4.電池の交換

表示が出なくなったり、うすくなった場合は電池の消耗が考えられます。

- (1)本体裏の電池蓋の"OPEN"の方向に電池蓋を回して、蓋を開けま
- (2) 電池の十を上にして、電池を装填します。
- (3) 電池蓋を"CLOSE"の方向に回して蓋を閉めます。